

# あらかき通信

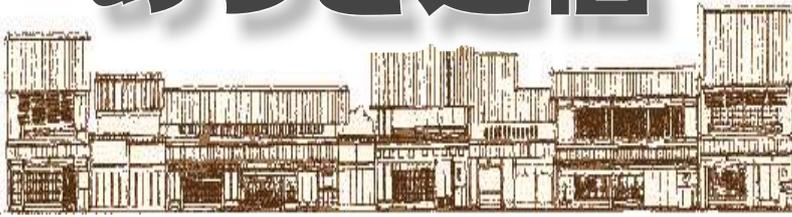
2021年12月31日 発行

(株)アラクキ工務店 編集・発行 荒木 勇

〒 615-0906 京都市右京区梅津高畝町 52-2

Tel 075-882-8668 www.kyoto-araki.jp/

Fax 075-872-0223 info@kyoto-kozai.com



**コロナの話題はもうお仕舞にしたいです。すっかり寒くなりました。**

当社会長久しぶりに登場です。いまでも元気になっています。もう88歳なので、さすがに仕事はしていませんが、講演を頼まれると、出かけます（最近、コロナ禍で減りましたが…）。ちょっと最近思うところを聞いてみました。

## 大工の仕事を増やさんとあかんで

今は、自宅近所の施設のお世話になっています。コロナ禍でなかなか外出許可が出ないのですが、中でいろんな行事も工夫してくれているので、毎日楽しく過ごしています。

最近、大工が力を発揮する建物が少なくなって、さみしい限り。やれ省エネとか、やれ耐震とかばかりになって、真壁の家が減ったね。こんなんでは、大工が育たないなあと思う。町家も見学施設やなくて、居酒屋とかでもなくて、住む家なんて、直したらええんやけど、解体が止まらへんね。ほんまは何百年前からの大工の決まりごとを、仕事で覚えて訓練を積んで一人前になっていく。そうした仕事の場を増やさんとあかんと思うんやけどどうやろか。  
(はい、その通りです。がんばります)



あらかき通信の原稿確認中！

## 京町家相談員

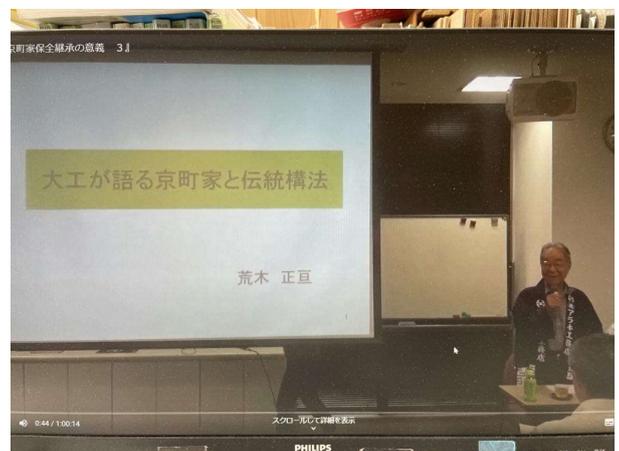
皆さん『京町家相談員』という存在をご存知でしょうか？

京都市のHPには、京町家の所有者や居住者等が京町家の保全及び継承に関する相談を安心感を持って行うことができる、身近な相談体制を整備するため、一定の資格や経験年数があり、所定の研修を受講した方を『京町家相談員』として、京都市が登録しています。

この制度では、専門分野に応じて次の9つの区分を設けて登録がおこなわれています。

※宅地建物取引士、建築士、大工、不動産鑑定士、土地家屋調査士、弁護士、司法書士、税理士、行政書士

この度、私は建築士として相談員に応募させて頂くことになりました。登録されるためには、オンラインによる数時間の研修を



オンライン研修に会長登場！

経て、京町家を保全継承するための考えをまとめたレポートを作成し、そして最後に面接があります。これまで多くの京町家の修繕工事に携わらせて頂きましたが、建築的な立ち位置から保全継承していくためには何が必要か、工務店として、現場監督として何が出来るのかについて、再確認するための良い機会となりました。

『京町家相談員』となった暁には、京町家の維持保全について悩んでいらっしゃる方、迷ってられる方など、少しでも多くの方々に、京町家を残そうと思って頂けるような提案ができればと思っております。そのためには、これまで現場で培った技術と経験を活かし、お客様のニーズに応じた現実的な工事を計画し、提案することが肝要であると考えております。

もしお悩みの方があれば遠慮無くご連絡頂けますでしょうか。宜しくお願い致します。

米沢 和也

## 鉋を愛する者たち

令和3年11月13日(土)・14日(日)に開催される『第36回全国削ろう会 森の京都亀岡大会』。昨年開催予定であった同大会に社員一同で参加予定であったが、コロナ禍により延期。今年の開催も危ぶまれていたが、無事に開催が決定。厚さ 1  $\mu\text{m}$ (マイクロメートル 1/1000 mm)を争う猛者たち競い合いに、いざ参加。

平成9年2月に第1回大会が開催された『削ろう会』。会の発端は、鉋好きが集まり【鉋の薄削り】を楽しみながら木を削るという会で、競技の要素はなく 50名ほどの参加者が砥石の講習や、各自10 $\mu\text{m}$ まで気が済むまで挑戦するといった内容であったらしい。

しかし、始めた方々の思いとは裏腹に、会を重ねるにつれて規模は拡大。会の内容も薄削りの競技大会の様相を呈し、当初厚さ【10 $\mu\text{m}$ 】を目指していたが、次々と現れた猛者たちによって【5 $\mu\text{m}$ 】【3 $\mu\text{m}$ 】へと進化。今後はさらに記録が更新される事が予測される。

参加者の職域も大工職に限らず、家具職人・建具職人・砥ぎ師・台打ち師・大工道具店・学生・アマチュアまで老若男女が参加。また参加者の国籍も多様化し、平成12年8月には第1回アメリカ大会が開催され、以後アメリカでは7回、ドイツで2回の国際大会が開催されている。

『削り花』といわれる鉋屑。刃物で薄く削った木肌は木材の繊維・細胞膜壁を傷めないで、水分の吸収を抑える。仕上がった木材の表面はガラスに落ちた水滴と同じ時間で蒸発するといわれている。日本の伝統建築は木部が露出し、塗装を施さない場合が多い。ガラスのように美しく仕上がった木部表面は、鑑賞の意味もあるが、木部の風化を遅らせる為にはとても重要な工程である事は歴史が証明している。

最後に、平成9年1月に発行された削ろう会会報の一部を抜粋して紹介します。

『現在使用されている大工道具は江戸時代の終わりに出揃ったといわれている。私たちは今、歴史上最もよく切れる大工道具を手にはしていないのでしょうか。しかし、時代はそれとは裏腹にこれらの大工道具を必要としない方向へと向かっております。今後、いつまで現在の大工道具が存続するか解りませんが、百年後はないであろう事は想像できます。良い刃物にあう良質な天然砥石は既に無く、地金に使用される良質な和鉄もいずれ底を尽き、腕のいい鍛冶職人も極端に減少しております。現在制作されている大工道具は最後になるかもしれません。すでに鍛冶職人の名工たちが廃業に追いやられました。刃物が最高の切れ味を身に付けた時に、このような時代が待ち受けていたとは鍛冶の名工たちも予測しえなかったでしょう』



は想像できます。良い刃物にあう良質な天然砥石は既に無く、地金に使用される良質な和鉄もいずれ底を尽き、腕のいい鍛冶職人も極端に減少しております。現在制作されている大工道具は最後になるかもしれません。すでに鍛冶職人の名工たちが廃業に追いやられました。刃物が最高の切れ味を身に付けた時に、このような時代が待ち受けていたとは鍛冶の名工たちも予測しえなかったでしょう』

当社では、今でも鉋が現役で活躍しています。京町家がこれからも残り、100年後にまた改修するためにも、大工道具を大切残していきたいと思っております。

小野 敏明

## 住まいについていろいろな話 第29回 「鴨川の床、今と昔」

鴨川の納涼床。コロナの蔓延でお客様は期待薄ですが、多くのお店が床を出しました。アラキ工務店が架け払いしているお茶屋さん2軒も例年通り出しました。床にはいろいろな規制がかかっているのでご紹介します。

先斗町の床は単に『ゆか』と言います。貴船で出されるのは川床『かわどこ』と呼び方が違います。元々は主にお茶屋さんが出していたのですが、お茶さんが料理店になり、現在純然たるお茶さんは床のなかでも5軒ほどになりました。アラキ工務店がお手伝いしているのもその5軒のうちの2軒です。お茶屋の女将さん曰く「私らはもう少数派になってしまったので意見が通らなくなって寂しい限りや」と嘆かれます。



床組の修理(今回は堀座卓を新設しました)

ももとは、6月の衣替(建具替)から～9月の衣替の間、夏の短い期間のみの設置だったと言われていました。最近では5月の1日から9月の30日まで許可されるようになりました。納涼床の設置には土木事務所や警察の許可が必要です。毎年毎年申請を出さなければなりません。工事に伴う車両の進入許可やクレーン車の占有許可なども必要で、いろいろと手間がかかります。また工事期間も限定され、設置は4月の15日から～30日まで、解体は10月の1日から～15日の間にと決められています。

今年に限って言えば10月の末まで床出しの許可を延長し、解体は11月の1日から～15日の間になりました。これを聞いた時には納涼の床なのにそんな寒い時期までするのはいかがかなと感じ、コロナであっても期間延長するのではなく、夏の風物詩なので潔く9月末までにするのがいいのにと感じたものでした。

2軒のうちの1軒のお茶屋さんは今でも6月に入ってから設置と9月中頃の解体を強く希望され、そのまま土木事務所に申請すると係員から「お願いだから他店と設置と解体の工事日を合わせられないか」と懇願されます。でも、いつも「衣替えよりも早くは出さないし、衣替えの前に片付けると女将さんから言われていますのでこれをお願いします」と返事をします。

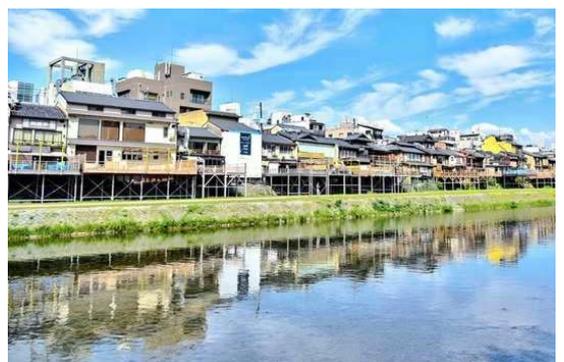
毎年ですが係員はため息をつき課長の顔を見て「仕方ないですね」と言って許可をいただき、私は「ここの床が一番遅く設置し一番早く解体しますので」といつも同じ言い訳めいた返事してお礼を言って帰り、女将さんには今年も言われましたと報告します。いつまで大目にみてもらえるのかな～～。

床の構造は木造ですが、他の料理店では鉄骨造りが主体です。こちらの床は木材なので雨と夏の強い紫外線で木にとっては過酷な環境です、痛みや劣化も早くたびたび修繕や交換を強いられます。無論乾燥材を使いますが、この暑さでは木にとってはたまらんでしょうね。

10年ほど前に京都府が全軒調査し構造から高さや色彩まで調べました。極端に高い物や川の増水時の危険水位以下の低い物には改善命令を出し、鉄骨造りには遠目には木造に見えるように塗替えを指示することを始めました。5年の猶予期間を経て改修されて以前より見栄えが良くなりましたね。

今はお茶屋さんより一般の料理屋さんが圧倒的に多く、フランス料理に寿司屋に焼き肉屋に喫茶店にショットバーに串カツ屋に焼鳥屋になど何でもあります。今年はまだ片付きましたが、来年はブラブラと散策しながらお気に入りのお店に入って床で過ごすのも良いですよ。

村上 幸男



## トンネル路地

現在、路地奥の建物の改修工事を行っています。ということで、今回は、路地奥の現場ならではのお話です。

▶ **運搬** 日々の道具や材料は、最寄りの道路から人力で運びます。小さい物は一輪車を使ったりもしますが、基本的には大工さんが担いで運びますので、結構大変です。大量の合板などの搬入には、今回初めて、専門の荷揚げ屋さんへ依頼をしました。屋根の上まで野地板を上げてもらえるので助かります。

▶ **近隣** 旗竿地は、境界を接するお隣の数も多くなります。建物が境界ギリギリに建っている場合など、足場を建てられないこともあります。今回は、お隣の敷地内に足場を建てさせていただくために、2軒の方にご協力をいただきました。

▶ **基礎工事** 建物をジャッキアップしながら、数回に分けて基礎工事を行います。コンクリートは、道路に停めたミキサー車から、一輪車でピストン輸送します。土間など、まとまった量の打設には、配管を組んで、ポンプ車でコンクリートを送ります。

▶ **設備工事** 水道・ガス・電気は、配管を埋設して路地奥まで引き込みます。排水管も全てやりかえますが、勾配が緩くなると詰まりの原因になりますので、排水距離が長い場合は、綿密な計算が必要になります。

▶ **工程管理** 人も物も、トンネル路地を通り抜けないと現場にたどり着けません。後の工事に必要な材料は、路地が工事で塞がっていない日を見計らって、あらかじめ現場に入れる段取りをするのですが、うまくいかない時もあります。トンネル路地で水道屋さんが作業中に、タイミング悪く屋根材が届いてしまった時は、板金屋さん→水道屋さん→大工さんのバトンリレーとなりました。いろいろと大変でしたが、またとない良い経験になりました！

長崎 道



水道配管掘削作業

## 民家の納戸に収納棚を新設

今回ご紹介するのは、収納棚です。

ですが、ただの収納棚ではありません。奥行き 850 mm × 横幅 2,100 mm × 高さ 1,800 mm の巨大な棚です。しかも部屋の横幅が2間(4m弱)ですので、壁の端から端までは棚がありません。途中で棚を止めるという難しい納まりに挑戦しました！

まずは簡単に棚の説明をしますと、高さ 900 mm の少し高めの中段を作り、その上に細かく仕切った棚を置く形です。中段も横幅が 2,100 mm もあるので、真ん中に補強の足を取り付けています。壁に刺さらない中段の納まりに大工さんも頭を悩ませていましたが、こちらの要望通りに「留め」(材料を斜めに付き合わせる形)に納めてくれました！(写真①)

さて、この上に棚を作ります。今回寸法の基準になるのは衣装ケースで



写真①

す。衣装ケースを横に「2個、1個、2個」の計5個並べられるように仕切ります。高さ方向にも3個積めるようにし、全部で15個の衣装ケースが入ります。棚は背面にすべて固定していますが、固定のビスの前に背板ベニヤを仕込んでいますので、全く見えません。

完成しました(写真②)。

中段の下には、折り畳み式のローテーブルや座布団を入れ、棚には予定通りの衣装ケースを入れるようです。衣装ケースは衣類だけでなく小物も多く収納され、季節ものも出し入れしやすいように使って頂けました。

このように予め入れるものを決めて頂ければ、収納棚でも用途や使い方に合わせて作ることが出来ます。必ずしも全て思い通りに実現出来ることはありませんが、工夫してよりお施主様のイメージに近いものをお作りしています。それが改修工事での私の大きな役割の一つだと思っております！

大久保 朋彦



## カーペット敷きの階段を、無垢の杉板に変更

だいぶ寒くなってきましたね。冬になると、階段は、暖房しにくくとても寒いです。

特に、階段は、踏板が冷たくなり 靴下を履いても冷たく感じます。



工事前



工事後

階段のなかでも、合板や固い木でできたものは、とても冷たいですね。

さて、少し前に、古い京町家の改装をもえぎさんとさせていただきました。その時、とても階段が気持ちよくなったと感じたので、紹介します。

工事前は、階段の踏板から蹴込みまですべて、カーペットで、まかれています。

工事後は、全面無垢の杉の階段です。杉板は、木材の中でも密度が少なくとても柔らかい材料で、冬暖かく感じる材料です。そして、夏もさらっとしています。キズがつきやすいのが、難点ですが、見た目もいいので、お勧めです。

工事後の仕上げは、床杉板・壁ペンキ塗り(施主様施工)です。建具は、古材倉庫の建具を使用しています。

手すりは桧の角材を面取りし、一番上だけ引っかかるので、折り曲げました。手すり受けと柱の間の高さ調整の木も楽しいです。

荒木 智



工事後 上から見たところ

## 外装工事

まず初めに。皆さんどうもおつかれさまです！ 4月からの新入社員「島田将也」と申します。現場監督業を務めております。これからもどうぞよろしくお願い致します！（^^）

さて、今回は初めて担当を待たせて頂いた2つの現場についてお話させていただきます。

入社して初めて担当させて頂いた現場は、どちらとも外装等の改修工事でした。以前から弊社の方で大変お世話になっている施主様で、新人の自分を快く受け入れて下さいました。だからこそ甘えてはなりません。主な工事内容

としては、雨漏りが生じないようにクラック部分のコーキング作業。メインの外壁塗装の塗替。撥水剤の塗替。樋の新設。工事内容が定まったら、次は協力会社さんと打ち合わせの毎日。簡単ではありますが工程表の作成、何度も何度も工事内容の確認。外装工事といっても、外壁を全て塗り直すわけですから職人さんが作業しやすいように、足場を家の周りに設置します。



建物A 竣工



建物B 竣工



建物A 足場



建物B 足場

自分にとっては初めてのことで、刺激の強い毎日でした。改めて、この業種は協力業者さんがあっての仕事だと思いました。

何とか、11月上旬に2現場共竣工することができました。施主様方には大変喜んでもらい、いい仕事ができたと感じております。

これからも、お施主様のお住まいの安心安全・笑顔を守っていけるように精進致します。それでは皆さん本日もご安全に(^^)/

島田 将也

## 給湯器と洗浄便座の話

今年9月ごろから、いきなり納期が出なくなっていました。ベトナムの工場がコロナで閉鎖されている影響だそうです。便座はまだいいとして、銭湯が少なくなったこのご時世、給湯器が壊れてしまうと、『納期2ヶ月』なんて言うと、心底びっくりされます。

1ヶ月くらいしたら落ち着くかな～と、思っていたのですが、全然ダメ。最近では工事着工時に、古い給湯器と洗浄便座を捨てずに保管しておくようになりました。

（この通信が届くころにはよくなってほしいと願っています）



## 編集後記

実は、前回のあらかき通信がでてから、病院を出たり入ったりして、あんまり仕事していないので、書くネタがなくて困りました。増殖性硝子体網膜症という病気で、「傷を直そうとして増えた繊維が網膜を引っ張る」らしく、5回も手術してしまいがっかりしています。

右の写真は、まだ1回目の手術後で、余裕をかましていますが、5回目は精神的にまいりました。今度はたぶん大丈夫そうです。

工事中のお施主様には本当にご迷惑をかけてしまいました。いい方ばかりで感謝する毎日です。

荒木 勇

